

## 第 24 回教材生物バザール

令和 3 年 6 月 10 日（木）に、第 24 回教材生物バザールを開催しました。

教材生物バザールは、学校における教育内容を充実させるために、観察や実験に必要な教材生物を一堂に集め、無償提供するとともに活用方法等を紹介する目的で実施するものです。また、教材生物をより有効に活用していただくための冊子「教材生物バザール活用ブック」を作成し、参加者に配付しています。

令和 2 年度は、新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点で実施することができず、教材生物の受領または提供を楽しみにされていた方々から落胆の声が聞かれました。

そこで、令和 3 年度こそはと、5 月 20 日（木）の実施に向けて準備を進めましたが、広島県内でも新型コロナウイルス感染症の拡大が見られて延期となりました。そして、3 週間後の 6 月 10 日（木）にようやく実施できる運びとなりました。

県内の小学校、中学校、高等学校、特別支援学校はもとより、広島大学、県立広島大学、東京農工大学、広島県立農業技術大学校、広島市森林公園こんちゅう館、大柿自然環境体験学習交流館（さとうみ科学館）等の団体から協力をいただき、延べ約 100 種類の教材生物等を提供または展示することができました。

今回の実施では、受領者は、指定されたグループ、ルート及び時間配分で、一度だけの巡回としました。また、受領者と提供者の接触を避けるため、提供者には事前に教材生物を持参していただき、受領者に対する教材生物の活用法等の説明は行いませんでした。そこで、説明不足を補うために、受領者が、提供者の作成した活用法や飼育・栽培法を説明した資料を、教材生物とともに持ち帰られるようにしました。教材生物バザールの醍醐味の一つである、受領者と提供者の教材生物を介した知の交流が行われなかったことに「残念だ」との声もありましたが、受領者の方々に、教材生物を安全に受け渡すことができました。



受領者は、指定されたグループ、ルート及び時間配分で、一度だけ巡回をしました。



受領者と提供者の接触を避けるため、提供者には事前に教材生物を持参していただき、受領者に対する教材生物の活用法等の説明は行いませんでした。



おかげさまで、多種多様な教材生物を提供または展示することができました。

## 参加者の声（アンケートから）

### 受領者

- ・ 理科室に生物を展示したところ、歓喜の声とともに生徒が生物に見入る姿がとても印象的でした。やっぱり、本物の持つ力って大きいですね！！
- ・ 校区内で採取できる場所を見つけることができず、困っていたので助かりました。
- ・ 生徒たちが「なんだろう？」と興味津々で見入っていました。
- ・ 思っていた以上に色々な生物を提供していただけることに驚きました。展示は見るだけでも楽しむことができました。
- ・ 早速生徒に披露する。
- ・ 生徒は実物の生物に触れることができ、楽しそうにしています。観察してみようとか、研究してみようとか意欲が高まっています。実物を通して、命の意味、命の価値、命の大切さを伝えられたらと思っています。

- ・非常に楽しい時間を過ごせました。生徒に見せるのが楽しみです。
- ・毎日のように見に来る生徒もいます。このように実物を提供していただくことで、授業が盛り上がります。
- ・それぞれのスペースに、説明付きで掲示や展示をしてあり、分かりやすい会場でした。
- ・コロナ禍ではありますが、開催していただいて本当に感謝しています。様々な生物を生で観察でき、私自身が一番感動しています。実際に見せ、触れ合わせ、それを生徒に伝えていきたいと思います。
- ・厳しい情勢の中で中止せずに開催していただいたことに深く感謝いたします。
- ・実施できたことが何より素晴らしいです。
- ・去年は開催が無く、大変残念でした。今年度は開催していただき、大変感謝しています。
- ・感染症等いろいろご配慮いただきありがとうございました。
- ・このような厳しい状況の中で、例年と同じ教材が用意されていたことに感謝しています。ほぼ希望のものがありませんでした。
- ・グループで時間を区切って進行して下さったおかげで、他の参加者との接触も無く、安心して講内を見て回ることができました。ありがとうございました。
- ・直接お話をお伺いしたかったとも思いますが、その分、生物についての資料が充実していたことや、センターの方の案内や説明のおかげで楽しむことができました。
- ・グループを作ったので場所移動だったので、欲しかった生物をゲットできませんでした。お互い様なのでやむを得ないと思います。
- ・提供者の方の説明を聞けなかったのは残念ですが、致し方ありません。
- ・一人が受領できる教材の数を指定していただければよかったなと思いました。
- ・次回は、自分の欲しいものがあるコーナーから自由に回るようにしてほしいと思いました。
- ・参加できなかった先生方もいらっしゃると思うので、何日かに分けることができればいいと思います。
- ・生物を維持管理する環境のための提供の必要も出てきているのではないかと思います。

#### 提供者（受領を兼ねる場合を含む）

- ・いただいた教材は生徒の学びにしっかりと還元していきたいと思っています。
- ・コロナ禍でありながら開催されたことに敬意を表します。
- ・生きた教材の提供の量が少ないのではないかと心配していたのですが、予想していたよりも多く提供されていると感じました。
- ・生物の提供や情報交換については、いつでも随時対応しております。そのことを、どこかのタイミングで受領者にアナウンスしていただけたらと思います。
- ・このような大変な時に、ぎりぎりの線で開催していただいたことに心より感謝いたします。

- ・できるだけ簡単に維持管理できるように準備して配ったつもりですが、プリントに書いたことを見落とすこともあると思いますので、少し心配です。
- ・生き物があると、授業が充実するだけでなく、職場環境も良くなるかもしれません。
- ・継承するため、コロナが去ったら、若い先生と話せる機会を持ちたいものです。
- ・寂しさを感じましたが、次年度は予定通りに戻ることを期待しています。
- ・来年度は、コロナ禍以前のように実施できることを願っています。

## 実施状況等

### (1) 当日参加者数

受領者	21名
提供者	44名

### (2) 提供された教材生物の種類数

約100種類

### (3) 満足度

#### ア 受領者

	割合	備考
①満足	50.0%	
②やや満足	50.0%	理由：グループでの移動だったので目的の生物が手に入らなかった。 提供者との交流ができなかった。
③ふつう	0.0%	
④やや不満	0.0%	
⑤不満	0.0%	

#### イ 提供者（受領を兼ねる場合を含む）

	割合	備考
①満足	50.0%	
②やや満足	21.4%	理由：現地に行っていないのでよく分からない。対面での提供ができなかった。
③ふつう	14.3%	理由：延期となったので教材生物の準備の日程調整がうまくいかなかった。対面での提供ができなかった。
④やや不満	14.3%	理由：対面での提供ができなかった。
⑤不満	0.0%	

### (4) 受領した教材生物の種類数と延べ数

	平均
種類数	9.7
延べ数	21.7

(5) 主な提供・展示生物

- [ほ乳類] ハムスター
- [は虫類] シマヘビ, アオダイショウ等
- [両生類] メキシコサンショウウオ, アカハライモリ
- [魚類] メダカ, ミユキメダカ等
- [甲殻類] スジエビ, ヌマエビ, ホウネンエビ, ミジンコ, ウミホタル
- [昆虫類] アゲハチョウ幼虫, カブトムシ幼虫, カイコ等
- [軟体動物] カタツムリ等
- [扁形動物] プラナリア
- [刺胞動物] ミドリイソギンチャク, ヒドラ
- [原生生物] アメーバ, ゾウリムシ, ブレファリスマ等
- [植物] ユキノシタ, アゲハソウ, フェンネル, ムラサキツユクサ, ヌمامラサキツユクサ, ワタ, オジギソウ, ウツボカズラ, コダカラベンケイソウ, 無菌植物体 (バニラ) 等
- [種子] オジギソウ, フウセンカズラ, ワタ, 遺伝教材用種子
- [コケ植物] ゼニゴケ, コスギゴケ, エゾスナゴケ, ウィローモス等
- [緑藻類] ボルボックス
- [植物に関する標本等] スギナの胞子, 乾燥イシクラゲ, ホウセンカの液浸標本, トウモロコシの液浸標本
- [標本類] ウミホタル, ヘラクレスオオカブト, ヤゴ抜け殻, 三葉虫, アンモナイト, リンボク, ショウジョウバエ突然変異体, アフリカツメガエル胚
- [その他] 授業展開グッズ

○教材生物バザールでは、オオカナダモやホテイアオイなど日本の生態系に悪影響を及ぼす外来生物の持ち込みを禁止しています。そして、外来生物問題等、生態系を保全することの重要性を認識してもらうよう取り組んでいます。

○参考になる活用事例があれば、次のアドレスまで送付してください。

[kyckyouka@pref.hiroshima.lg.jp](mailto:kyckyouka@pref.hiroshima.lg.jp) (教育センター教科教育部のメールボックス宛)